

これまでの協議会等での御意見と取組

会議名	内 容	検討後の取組等
<p>東京都へき地医療対策協議会 (平成29年度第1回)</p>	<p>円滑な退院（帰島）支援について 【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 島しょ医療機関に退院前に情報提供がほしい。 ● 島側担当者への事前調整が必要。 ● 島しょでは医療・介護資源が少なく、より専門的・具体的な対応・情報を入手することが難しいという事情を理解してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 画像電送システムのweb会議機能を活用した退院カンファレンスの実施（R4:15回） ● 冊子「伊豆諸島・小笠原諸島 各島の医療介護資源」の作成・配布（R4：東京都指定二次救急医療機関292施設を含む計380機関に配布）
<p>東京都地域医療構想調整会議・在宅療養ワーキング (令和4年度第2回)</p>	<p>島しょのリハビリテーション医療について 【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本土の医療機関でリハビリが終わるまで入院することが患者の負担になっている。 ● リハビリが不十分なまま島に戻ってしまうケースがある。 ● R4から島に理学療法士が常駐するようになり、術後早期に帰島しリハビリを行う例が出てきている。 ● 島の診療所の施設基準が整わないため、健康づくり事業の一環として、理学療法の事業を実施している。 ● 島の介護環境も影響すると思う。ショートステイまでは可能でも特養はないので、ADLがかなり落ちている患者さんの場合は、早期帰島が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京都保健医療計画第7次改定に記載 「島しょ地域におけるリハビリテーション機能の充実を図るため、本土の急性期病院・回復期病院と島しょ医療機関等との連携強化のための具体的な検討を進める。」
<p>東京都へき地医療対策協議会 (令和5年度第1回)</p>	<p>円滑な退院（帰島）支援について 【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リハのスタッフがいない島でどうするかというのが一番の課題。 ● 島の高齢者に運動療法を指導できる人を島内に配置することで、入院後のリハビリも一緒にやっていただくようなことができればいい。 	<p>島しょ地域リハビリテーション検討部会（仮称）の設置</p>